

有機 J A S 規格に係るアンケート調査結果概要（消費者向け）

I 調査の対象及び内容

消費者に対し、J A S 規格の利用状況等についてアンケート（WEB 調査）を行った。

II 調査期間

平成 2 7 年 3 月 2 日～3 月 4 日

III 調査件数

調査先	調査数	回答数	回答率
消費者* 1	—	1, 110	—

* 1 消費者の構成比

(1) 男女比

男女比は 1 : 1

(2) 年代

「2 0 代、3 0 代、4 0 代、5 0 代、6 0 代以上」の 5 区分で、それぞれ 2 0 %

(3) 居住地

1 0 区分（北海道、東北、関東、甲信越、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州・沖縄）で、総務省の平成 2 2 年度国勢調査の人口構成比を考慮

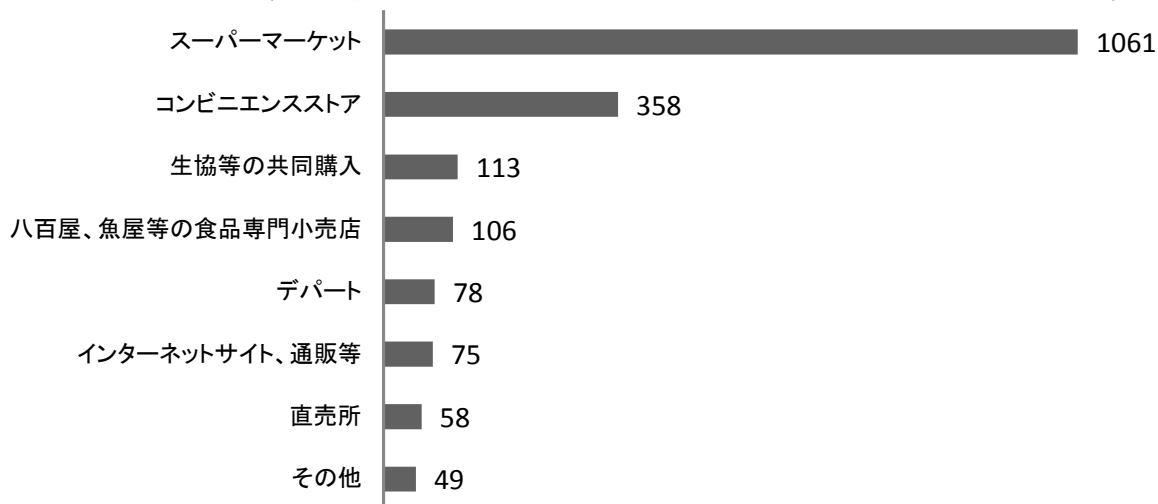
* 集計方法：有効回答数のみで集計。

IV 調査結果

1 消費者の食品の購入先

○ ほとんどの消費者は、食品の購入先として「スーパーマーケット」と回答し、次いで約30%が「コンビニエンスストア」と回答した。

(Q. あなたの普段の食品の購入先(主なもの2つまで)について教えてください。)



主な食品の購入先(複数回答 n=1110)

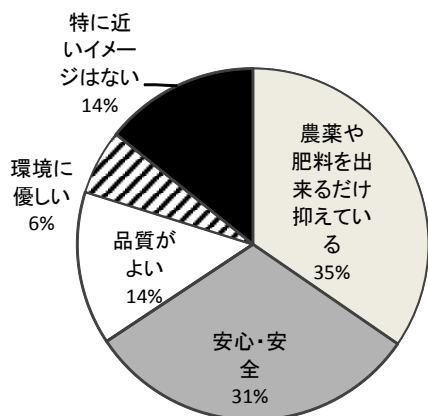
2 「有機」及び「有機JAS」について

(1) 「有機」に対するイメージ

○ 「有機」のイメージに最も近いものとして、「農薬や肥料をできるだけ抑えている」との回答が最も多く、次いで「安心・安全」、「品質がよい」、「環境に優しい」が続いた。

(Q. 「有機」についてあなたのイメージに最も近いものを教えてください。)

(選択回答)

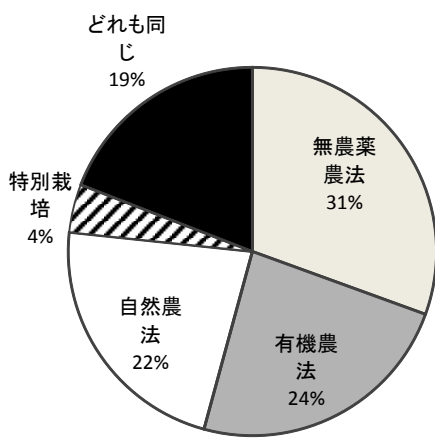


有機のイメージ
(n=1110)

「有機」のイメージ	回答数
農薬や肥料を出来るだけ抑えている	384
安心・安全	345
品質がよい	157
環境に優しい	66
特に近いイメージはない	158

○ 「有機農法」、「無農薬農法」、「自然農法」、「特別栽培」の中で最も優良と思うものとして、「無農薬農法」との回答が最も多く、次いで「有機農法」、「自然農法」、「どれも同じ」、「特別栽培」が続いた。

(Q. 「有機農法」、「無農薬農法」、「自然農法」、「特別栽培」の中で、最も優良と思うものを教えてください。)



最も優良と思うもの
(n=1110)

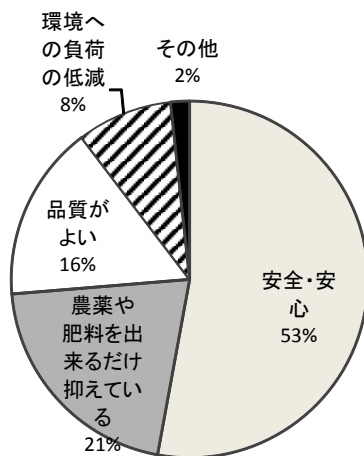
(選択回答)

最も優良と思うもの	回答数
無農薬農法	339
有機農法	263
自然農法	249
特別栽培	47
どれも同じ	212

(2) 「有機」に期待すること

○ 消費者が有機に期待するものとして、「安心・安全」との回答が最も多く、次いで「農薬や肥料を出来るだけ抑えている」、「品質がよい」、「環境への負荷の低減」が続いた。

(Q. 有機に期待するものとしてどれが最も近いですか。)



期待すること
(n=1110)

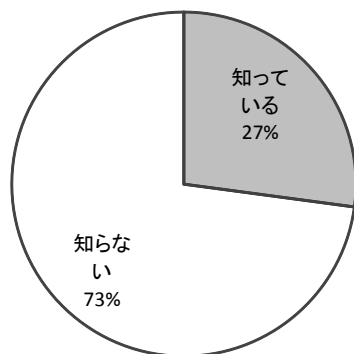
(選択回答)

有機に期待すること	回答数
安心・安全	587
農薬や肥料を出来るだけ抑えている	231
品質がよい	177
環境への負荷の低減	96
その他	19

(3) 有機JASに対する認知度

- 消費者の約 30 %は、有機JASマークについて「知っている」と回答した。また、有機JASマークのついた製品は、有機JAS規格に適合していることを、国が登録した第3者機関（登録認定機関）から認証を得た認定事業者が確認している。このことを「知っている」と回答した消費者は、有機JASマークについて「知っている」と回答した301人のうち、約55%であった。
(Q. この有機マークを御存知ですか。)

(選択回答)

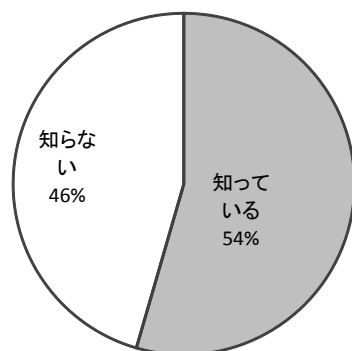


JASマークについて	回答数
知っている	301
知らない	809

有機JASマークについて
(n=1110)

- (Q. 有機JASマークのついた製品は、有機JAS規格に適合していることを、国が登録した第3者機関（登録認定機関）が認証していることを御存知ですか。)

(選択回答)



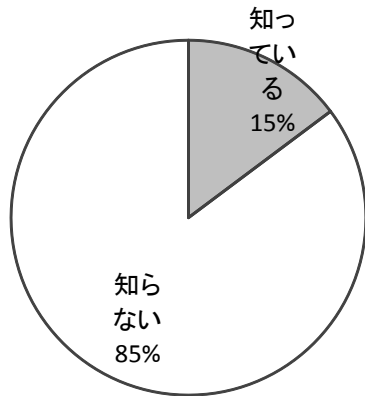
第3者機関の認証について	回答数
知っている	164
知らない	137

有機JAS品の第3者機関の認証について
(有機JASマークを知っている者の回答 n=301)

○ 消費者の約 15 %が、有機 J A S 規格の内容を知っていると回答した。そのうち、有機農産物の J A S 規格を知っている人が最も多く、有機加工食品、有機畜産物と続いた。

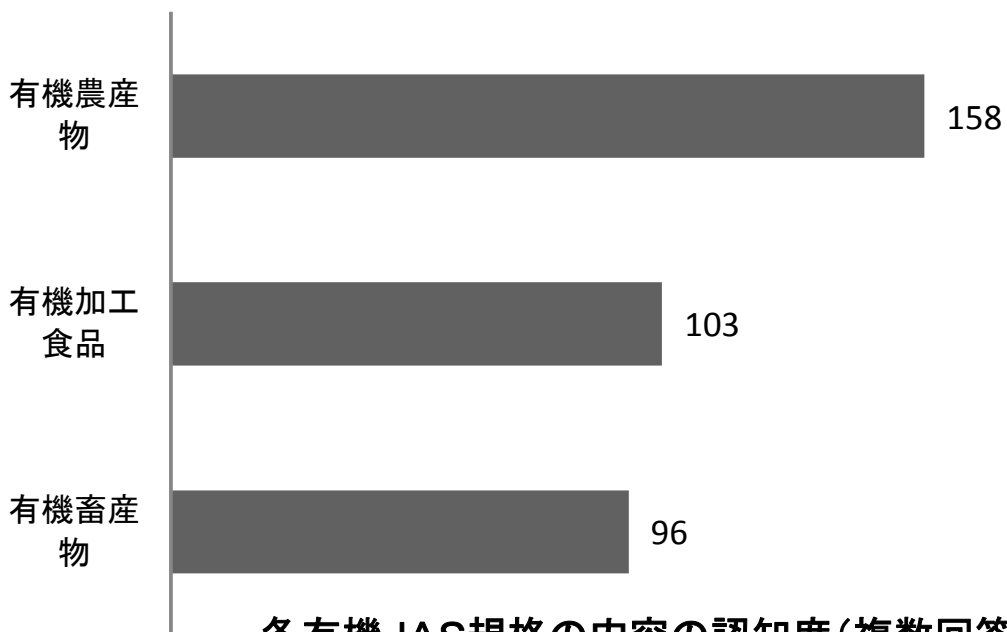
(Q. 有機 J A S 規格の内容を御存知ですか。)

(選択回答)



有機 J A S 規格の内容について	回答数
知っている	164
知らない	946

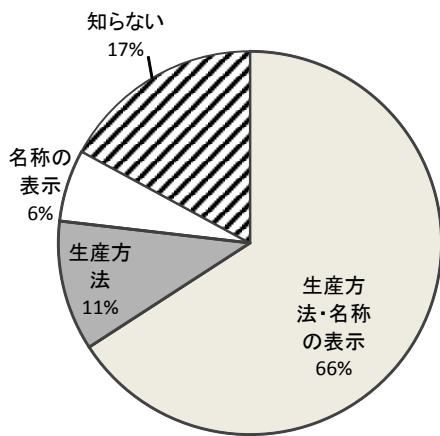
有機 J A S 規格の規格内容
(n=1110)



各有機 J A S 規格の内容の認知度(複数回答 n=164)

- 有機JAS規格を知っていると回答した164人の消費者のうち、約65%は生産方法及び名称の表示の両方の内容について知っていると回答した。
 (Q. 規格の内容について知っていることを教えてください。)

(選択回答)



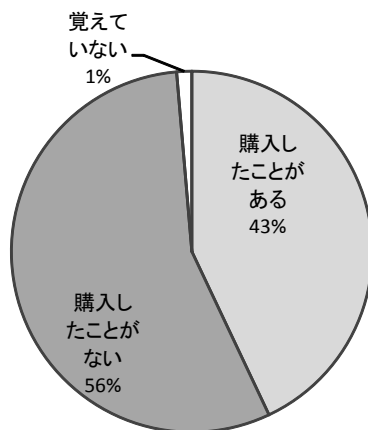
項目	回答数
生産方法及び名称の表示の両方	108
生産方法のみ	18
名称の表示のみ	10
知らない	28

知っているJAS規格の内容
(n=164)

3 有機農産物のJAS規格について

(1) 購入状況

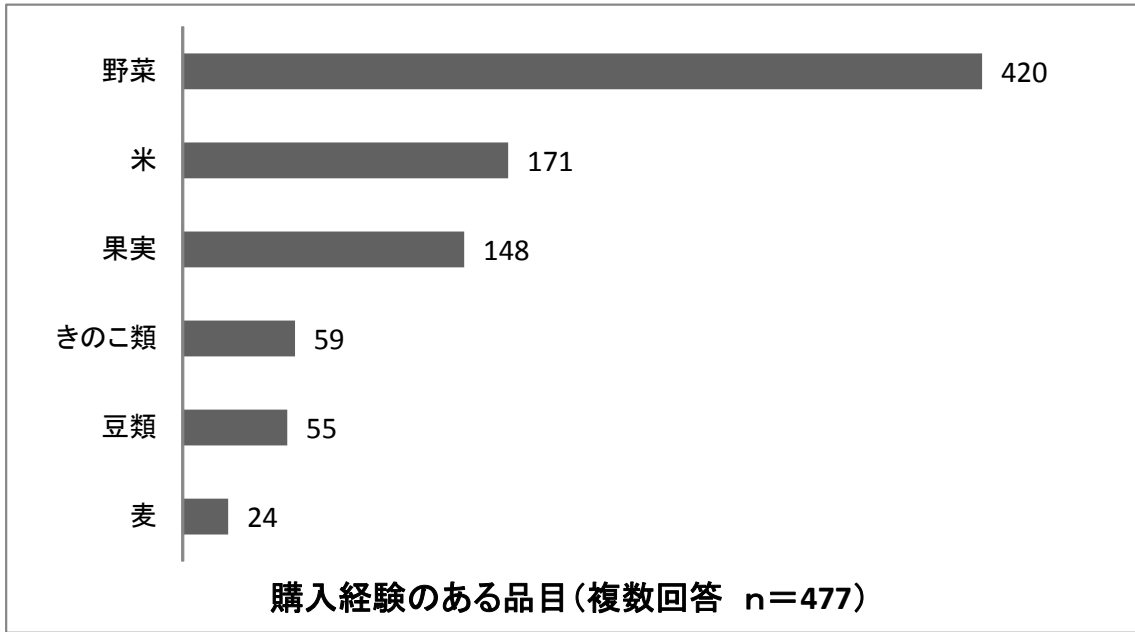
- 消費者の約45%が有機農産物を購入したことがあると回答した。購入したことがある品目については「野菜」との回答が最も多く、次いで「米」との回答が多かった。
 (Q. あなたは有機農産物を購入したことがありますか。購入したことがある品目を教えてください。)



(選択回答)

購入の有無	回答数
購入したことがある	477
購入したことがない	618
覚えていない	15

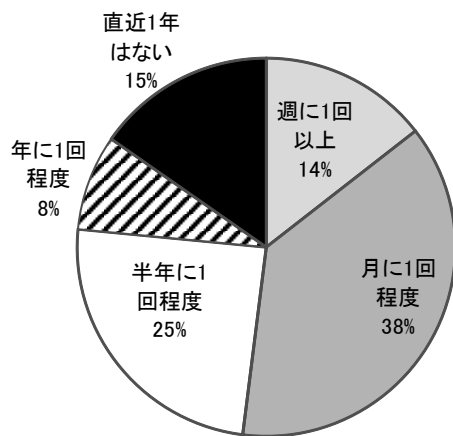
購入の有無
(n=1110)



(2) 購入頻度

○ 有機農産物を購入したことがあると回答した 477 人の消費者のうち、約 50 %は月に 1 回程度以上有機農産物を購入していると回答した。

(Q. 有機農産物の購入頻度を教えてください。)



購入頻度
(n=477)

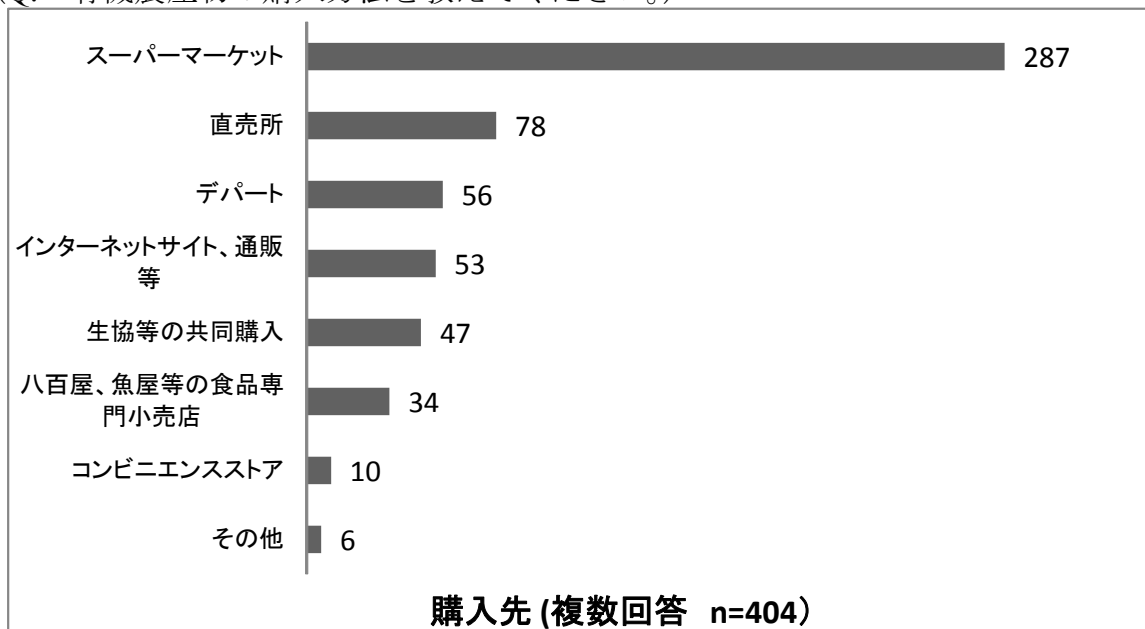
(選択回答)

購入頻度	回答数
週に1回以上	69
月に1回程度	179
半年に1回程度	117
年に1回程度	39
直近1年はない	73

(3) 購入先

○ 年に1回程度以上の購入していると回答した消費者404人のうち、約70%は購入先として「スーパーマーケット」と回答した。

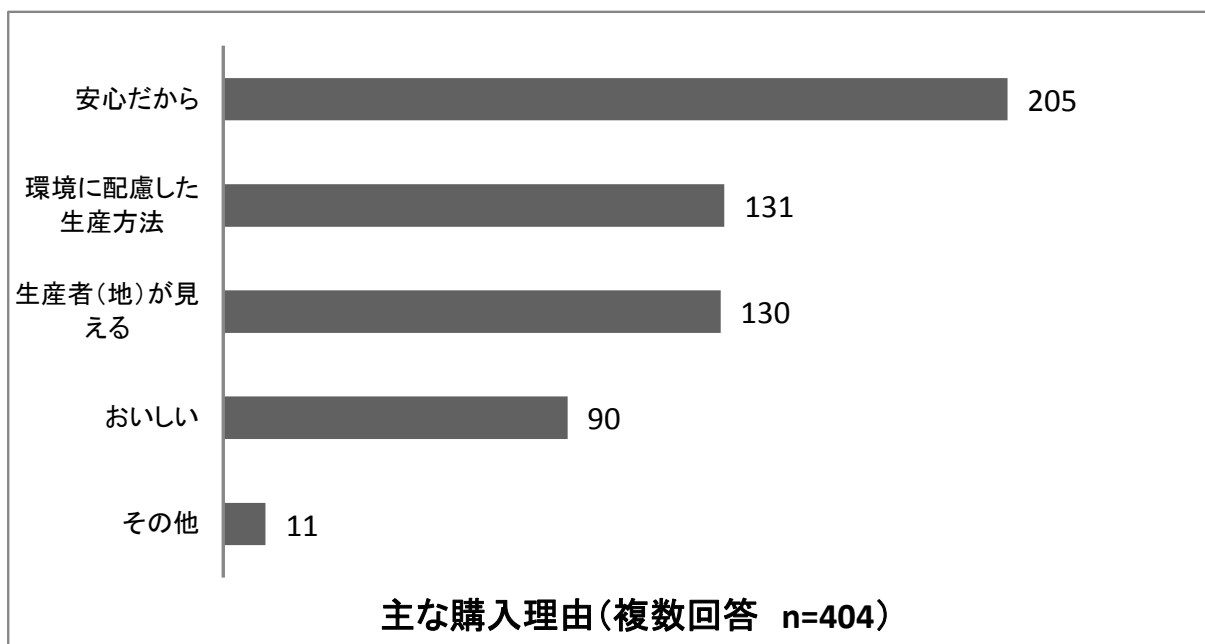
(Q. 有機農産物の購入方法を教えてください。)



(4) 購入理由

○ 購入理由として、「安心だから」をあげる消費者が最も多く、次いで「環境に配慮した生産方法」、「生産者(地)が見える」、「おいしい」が続いた。

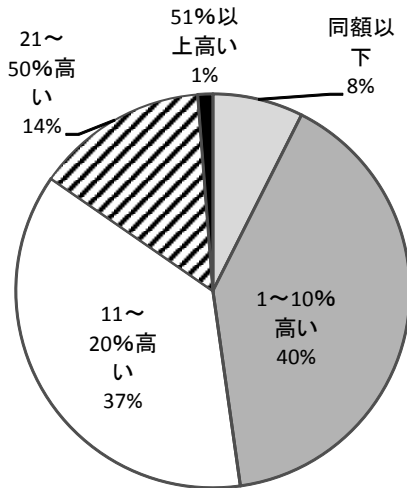
(Q. 有機農産物の購入理由(主なもの2つまで)を教えてください。)



(5) 購入している有機農産物と通常の農産物との価格差

○ 価格差については、通常の農産物と比較して有機農産物の価格の方が「1～10%高い」との回答が最も多く、次いで「11～20%高い」との回答が多かった。

(Q. あなたが購入している有機農産物は、通常の農産物と、どの程度の価格差がありますか。最も近いものをお選びください。)



有機農産物と通常の農産物との価格差 (n=404)

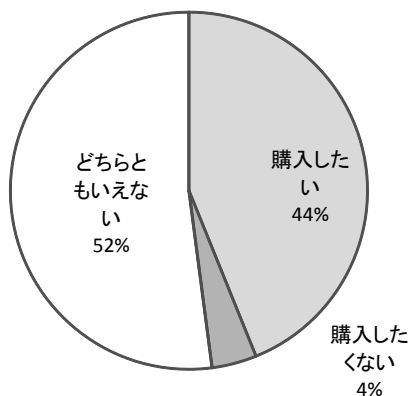
(選択回答)

価格差	回答数
同額以下	30
1～10%高い	163
11～20%高い	149
21～50%高い	67
51%以上高い	5

(6) 今後の購入への意向

○ 消費者の約45%は、今後有機農産物を購入したいとの回答であった。そのうち、通常の農産物と比較して価格差があっても有機農産物を購入すると回答した消費者は約80%であり、購入したいと思う価格差については、「1～10%高い」との回答が最も多かった。

(Q. 今後有機農産物を購入したいですか。)

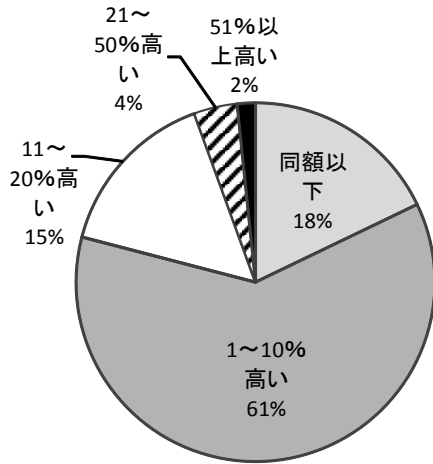


有機農産物の購入意向 (n=1110)

(選択回答)

購入の意向	回答数
購入したい	487
購入したくない	45
どちらともいえない	578

(Q. 有機農産物が通常の農産物とどの程度の価格差なら購入したいと思いますか。最も近いものをお選びください。)



**購入したいと思う価格差
(購入希望者の回答 n=487)**

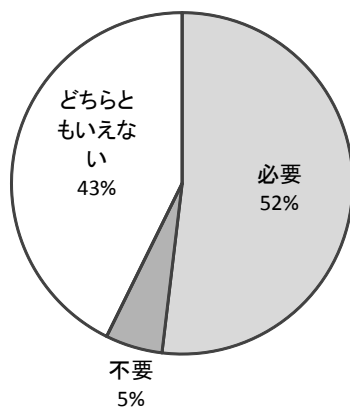
(選択回答)

価格差	回答数
同額以下	87
1~10%高い	298
11~20%高い	75
21~50%高い	19
51%以上高い	8

(7) 有機農産物の J A S 規格の必要性

- 消費者の約 50% は、有機農産物の J A S 規格は必要であるとの回答であった。理由としては、「標準的な製品と区別できる」との回答が最も多く、「商品選択の目安」、「安心又は信頼」、「国家規格として必要」が続いた。

(Q. 有機農産物の規格は引き続き必要か教えてください。)

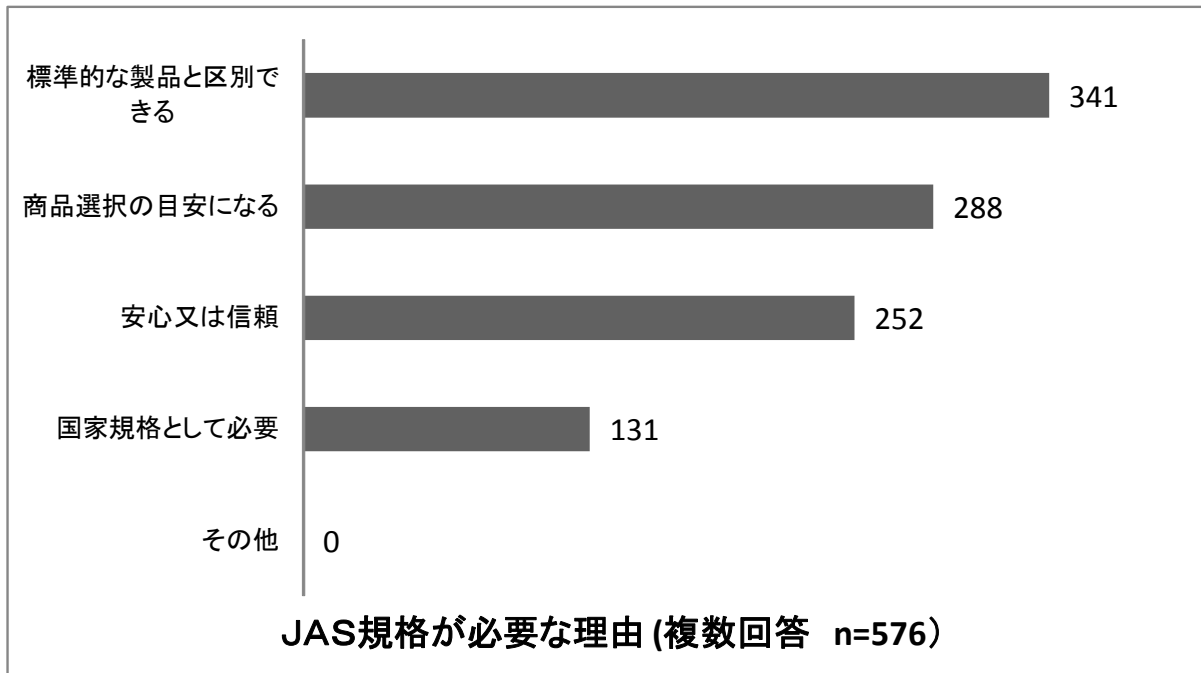


有機農産物のJAS規格の必要性 (n=1110)

(選択回答)

JAS規格の必要性	回答数
必要	576
不要	60
どちらともいえない	474

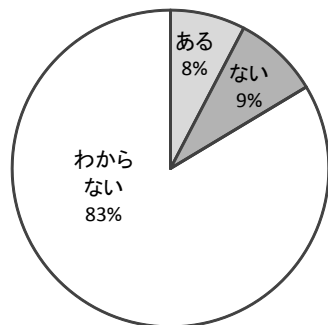
(Q. その理由は何ですか。)



(8) 有機農産物の J A S 規格に対する改正要望

○ 有機農産物の J A S 規格の改正要望については「わからない」という回答が多数を占め、「ある」と回答した消費者は、約 8 %であった。また、改正すべき具体的な内容及び事項については、「生産方法の基準」との回答が最も多く、ついで「定義」との回答が多かった。

(Q. 有機農産物の規格に新たに盛り込むべき又は改正すべき内容や項目がありますか。)

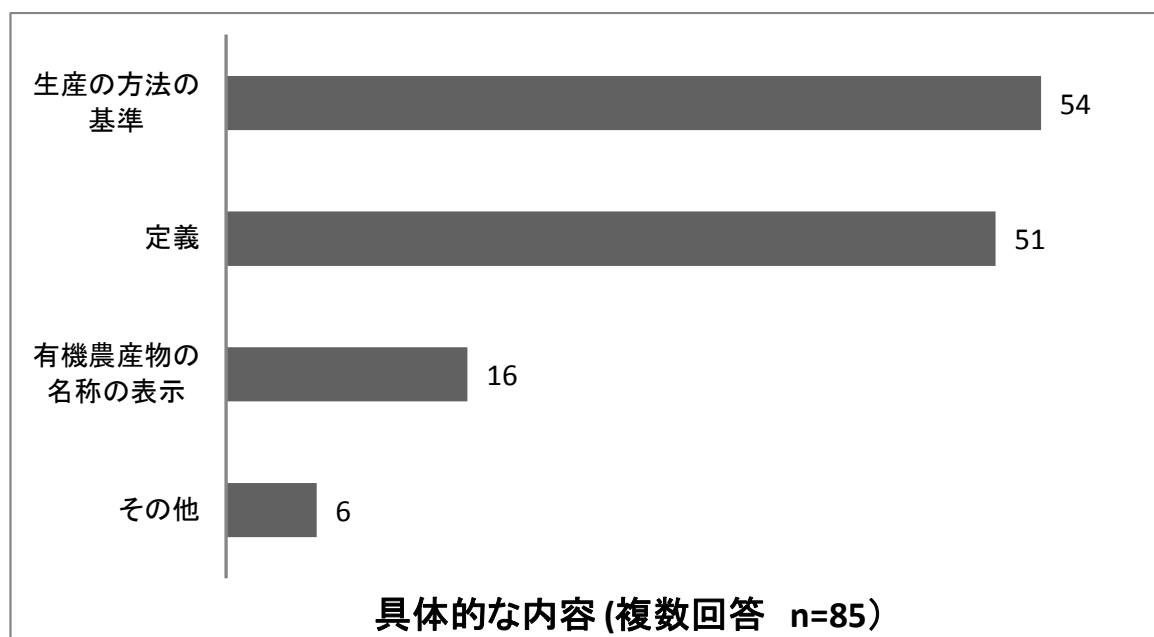


改正要望の有無
(消費者 n=1110)

(選択回答)

項目	回答数
ある	85
ない	97
わからない	928

(Q. 具体的な内容や項目について教えてください。)



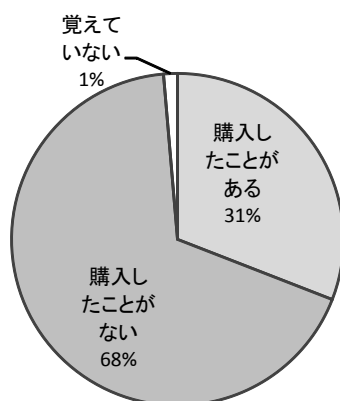
※その他は規格の内容についての要望ではなかった。

4 有機加工食品の JAS 規格について

(1) 購入状況

○ 消費者の約 30% が有機加工食品を購入したことがあると回答した。購入したことがある品目については「野菜加工品」との回答が最も多く、次いで「豆類加工品」との回答が多かった。

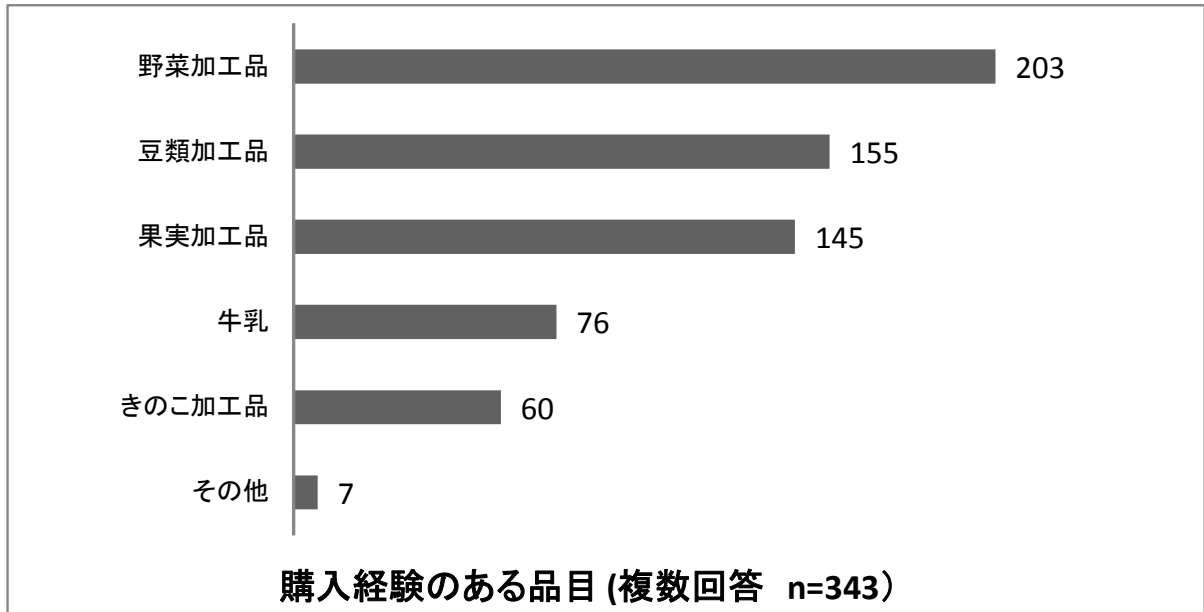
(Q. あなたは有機加工食品を購入したことがありますか。購入したことがある品目を教えてください。)



購入の有無
(n=1110)

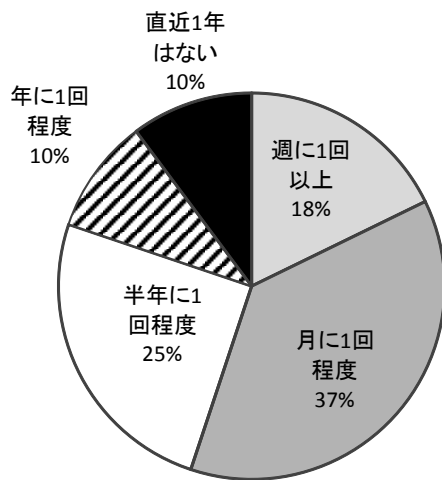
(選択回答)

購入の有無	回答数
購入したことがある	343
購入したことがない	752
覚えていない	15



(2) 購入頻度

- 有機加工食品を購入したことがあると回答した 343 人の消費者のうち、約 55 %は月に 1 回程度以上有機加工食品を購入していると回答した。
 (Q. 有機加工食品の購入頻度を教えてください。)



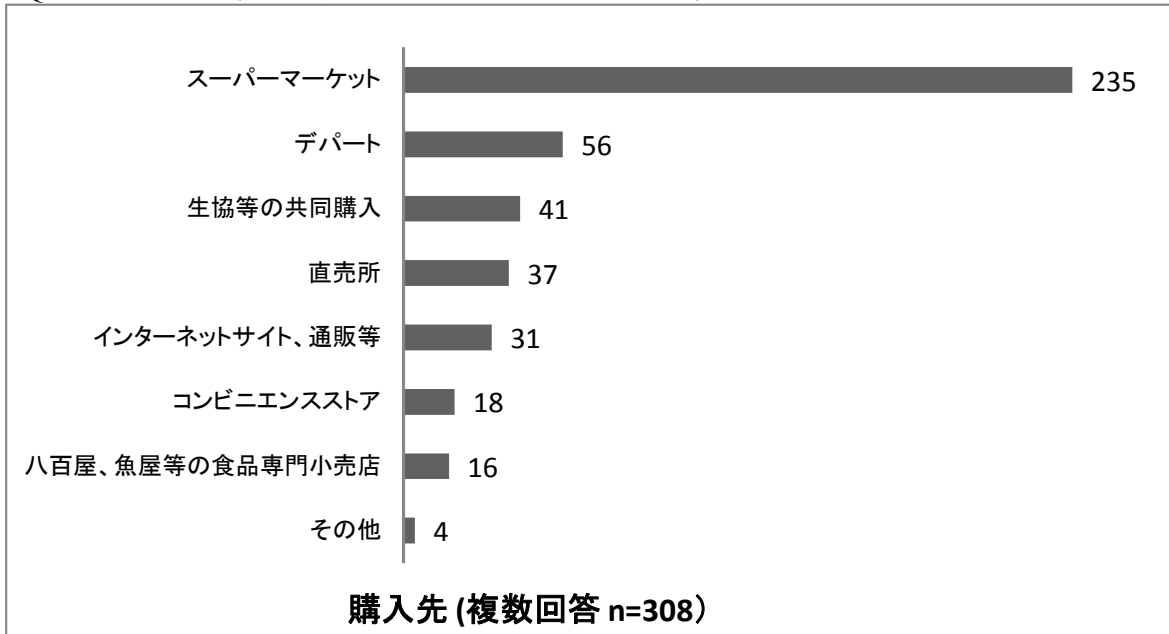
購入頻度	回答数
週に1回以上	61
月に1回程度	128
半年に1回程度	86
年に1回程度	33
直近1年はない	35

購入頻度
(n=343)

(3) 購入先

○ 年に1回程度以上購入していると回答した消費者308人のうち、約75%は購入先として「スーパーマーケット」と回答した。

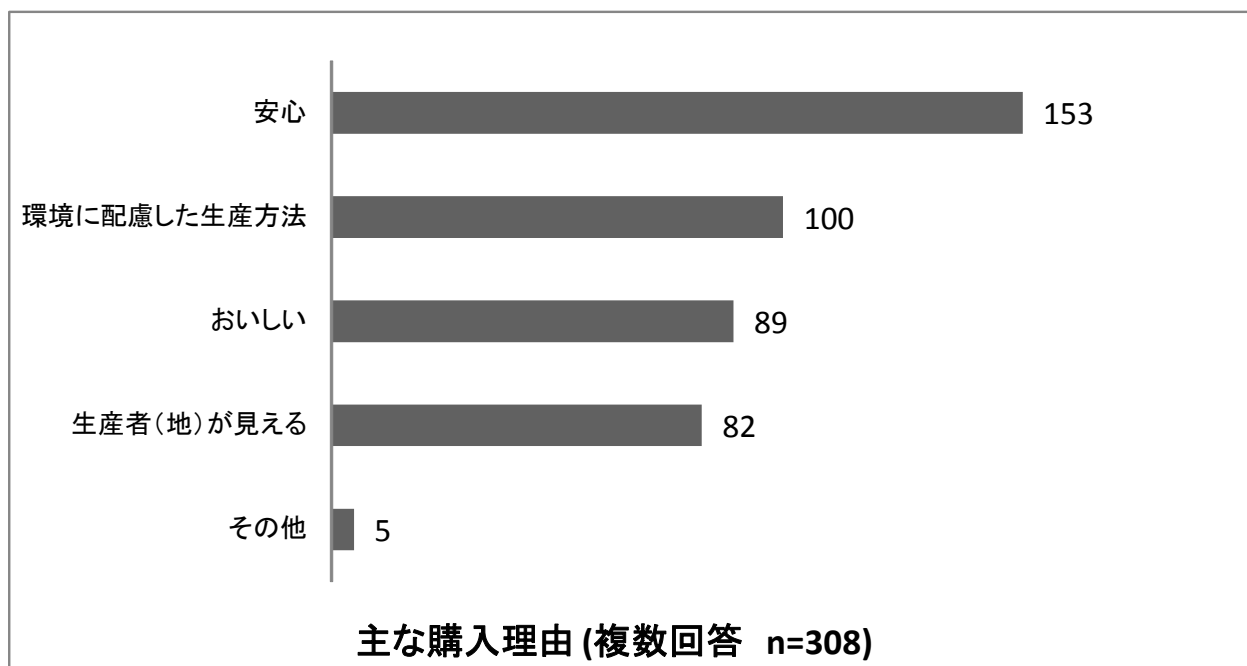
(Q. 有機加工食品の購入方法を教えてください。)



(4) 購入理由

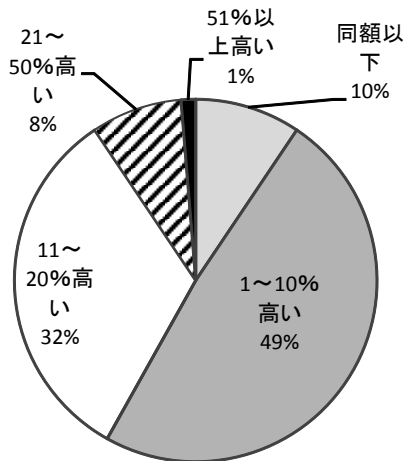
○ 購入理由として、「安心だから」をあげる消費者が最も多く、次いで「環境に配慮した生産方法」、「おいしい」、「生産者(地)が見える」が続いた。

(Q. 有機加工食品の購入理由(主なもの2つまで)を教えてください。)



(5) 購入している有機加工食品と通常の加工食品との価格差

- 価格差については、通常の加工食品と比較して有機加工食品の価格の方が「1～10%高い」との回答が最も多く、次いで「11～20%高い」との回答が多かった。
 (Q. あなたが購入している有機加工食品は通常の加工食品とどの程度の価格差がありますか。最も近いものをお選びください。)

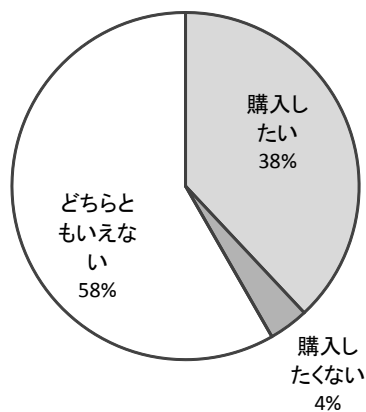


価格差	回答数
同額以下	29
1～10%高い	150
11～20%高い	100
21～50%高い	25
51%高い	4

有機加工食品と通常加工食品
との価格差 (n=308)

(6) 今後の購入への意向

- 消費者の約40%は、今後有機加工食品を購入したいとの回答であった。そのうち、通常の加工食品と比較して価格差があっても有機加工食品を購入すると回答した消費者は85%であり、購入したいと思う価格差については、「1～10%高い」との回答が最も多かった。
 (Q. 今後有機加工食品を購入したいですか。)

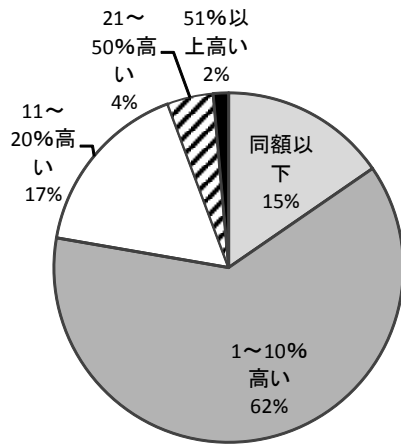


(選択回答)

購入の意向	回答数
購入したい	442
購入したくない	41
どちらともいえない	647

有機加工食品の購入意向
(n=1110)

(Q. 有機加工食品が、通常の加工食品と、どの程度の価格差なら購入したいと思えますか。最も近いものをお選びください。)



購入したいと思う価格差
(購入希望者の回答 n=422)

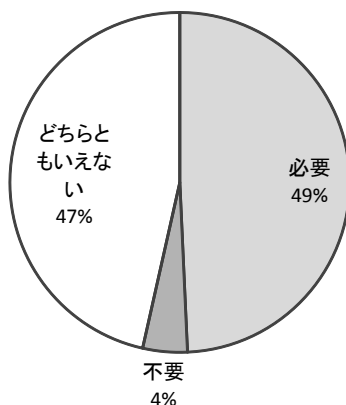
(選択回答)

価格差	回答数
同額以下	65
1~10%高い	263
11~20%高い	70
21~50%高い	18
51%以上高い	6

(7) 有機加工食品の JAS 規格の必要性

○ 消費者の約 50 %は、有機加工食品の JAS 規格は必要であるとの回答であった。理由としては、「標準的な製品と区別できる」との回答が最も多く、次いで「安心又は信頼」、「商品選択の目安」、「国家規格として必要」が続いた。

(Q. 有機加工食品の JAS 規格は引き続き必要か教えてください。)

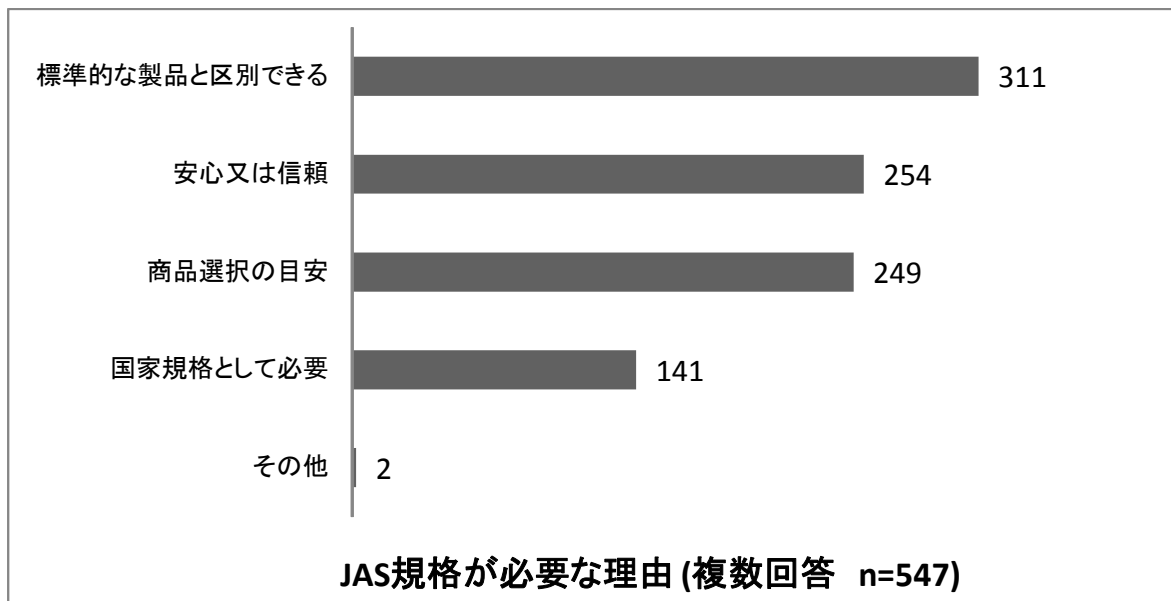


有機加工食品のJAS規格の必要性
(n=1110)

(選択回答)

JAS規格の必要性	回答数
必要	547
不要	47
どちらともいえない	516

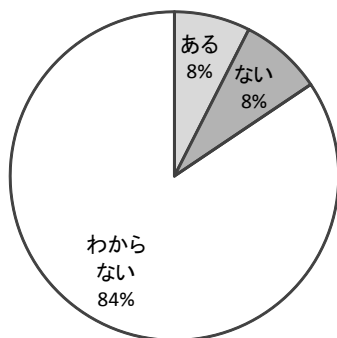
(Q. その理由はなんですか。)



(8) 有機加工食品の JAS 規格に対する改正要望

○ 有機加工食品の JAS 規格の改正要望が「ある」と回答した消費者は、約 8 %であった。また、改正すべき具体的な内容及び事項については、「定義」との回答が最も多く、ついで「生産方法の基準」との回答が多かった。

(Q. 有機加工食品の規格に新たに盛り込むべき又は改正すべき内容や項目はありますか。)

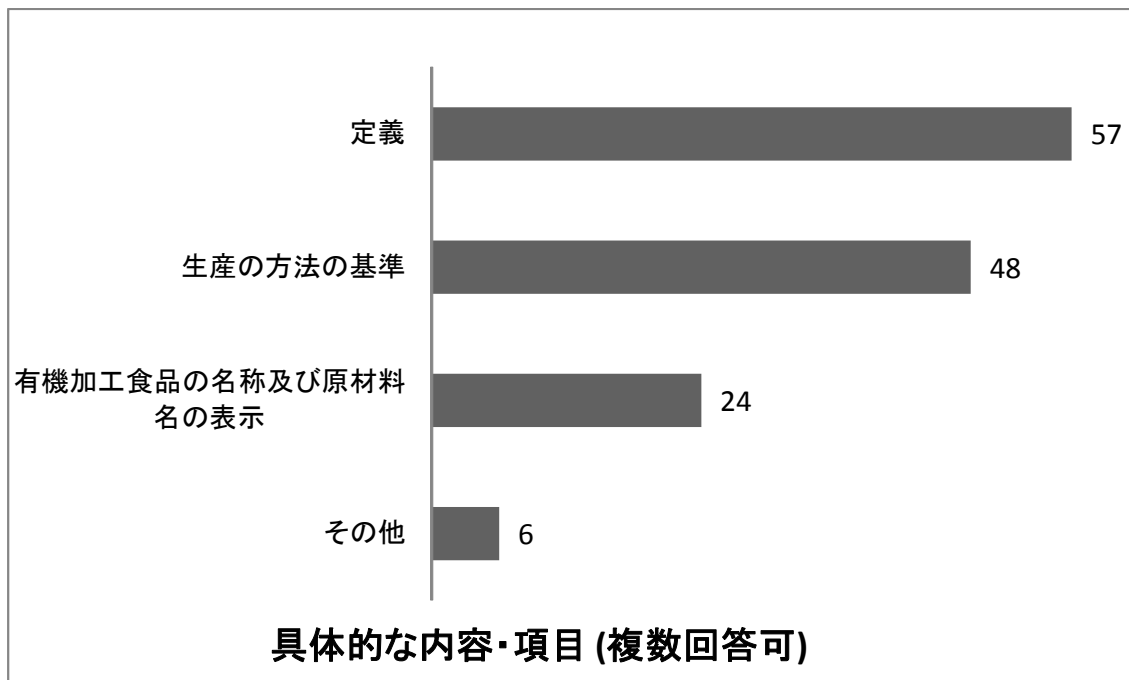


改正要望の有無
(n=1110)

(選択回答)

項目	回答数
ある	83
ない	90
わからない	937

(Q. 具体的な内容や項目について教えてください。)



※その他は規格の内容についての要望ではなかった。